

研究・調査報告書

報告書番号	担当
405	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名（原題／訳）	
Effect of acute and chronic alcohol abuse on pain management in a trauma center 外傷治療部門における疼痛管理に及ぼす急性・慢性アルコール乱用について	
執筆者	
Askay SW, Bombardier CH, Patterson DR.	
掲載誌（番号又は発行年月日）	
Expert Rev Neurother. 2009 Feb;9(2):271-7.	
キーワード	
アルコール依存、慢性アルコール依存症、疼痛管理	
要 旨	
<p>急性疼痛に対し適切な管理が行えることが、アメリカでは外傷治療における最も重要な質の評価指標とされてきた。全外傷患者の約半数が中毒状態であり、その75%が慢性のアルコールの問題を抱えている。飲酒の問題を抱える患者の外傷に起因する疼痛の管理には独特の問題が存在する。エタノール、オピオイドの交叉耐性の影響、乱用した経歴に基づく痛みの域値の低下などのバイアスが存在することなどである。この総説の目的は、このような患者集団の急性期疼痛管理をどのように行うかという我々の決定要因となるものを調べ、存在する経験的な根拠を総説することである。</p>	